

# 決算特集号



芦川町民運動会で都市部の方と交流

平成30年度決算が市議会第3回定例会  
で認定されました。

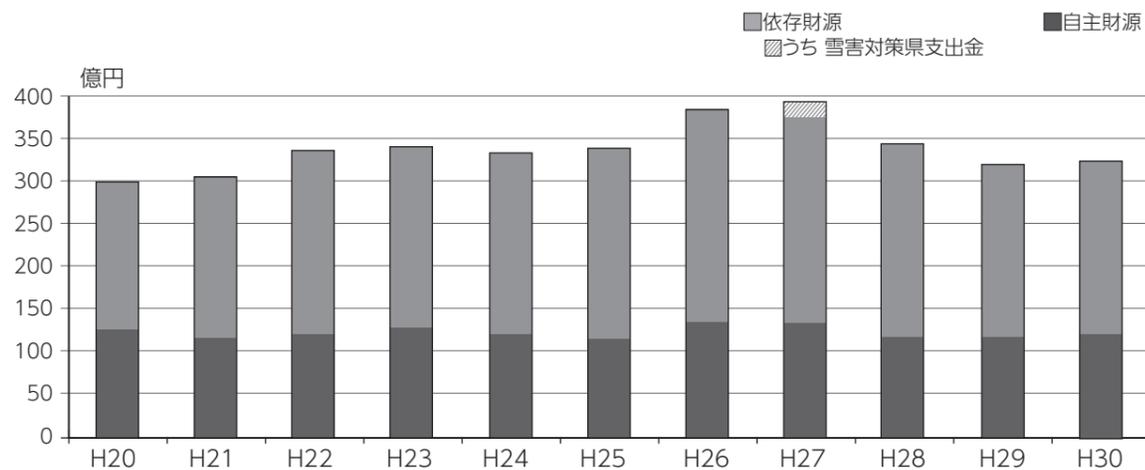
一般会計の決算を中心に、笛吹市の決  
算の概要を紹介します。

## CONTENTS(内容)

決算の概要	2~5
市の基金と市債(借入金)	6
財政健全化判断比率など	7
平成30年度の主な事業	8

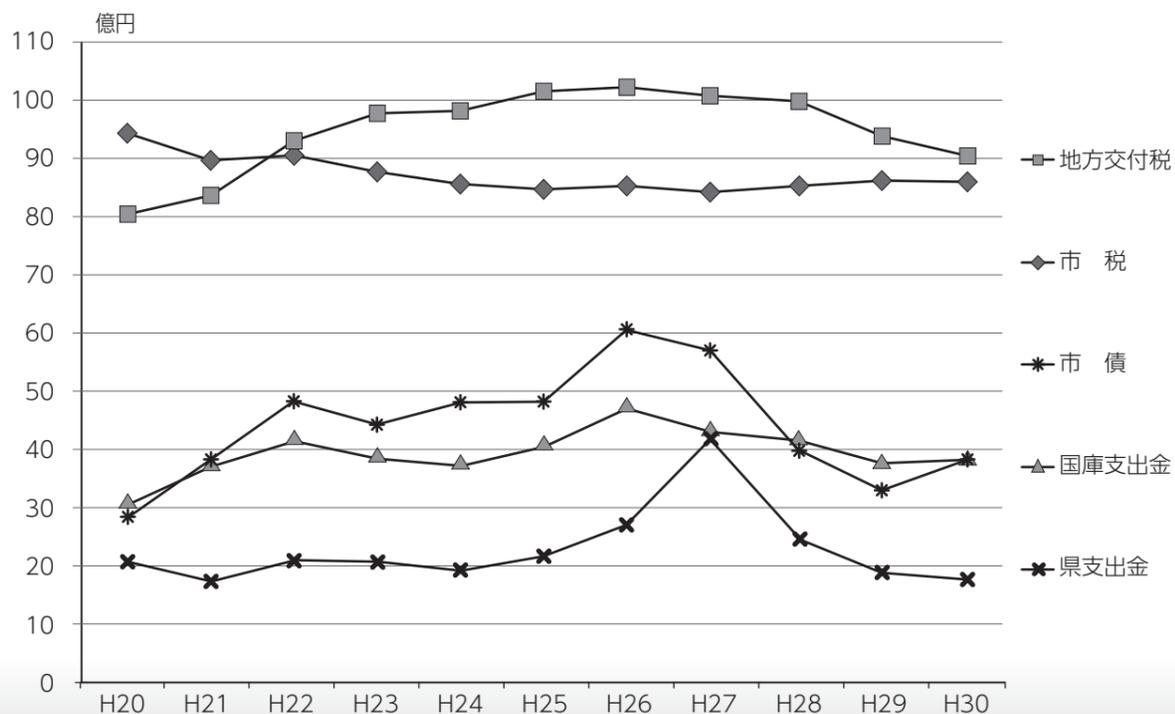
## 一般会計 自主財源・依存財源の推移

合併からの推移を見ると、自主財源はほぼ横ばいで推移しています。依存財源は、平成27年度以降、減少していましたが、平成30年度は国庫支出金や市債の増加に伴い微増となりました。



## 一般会計 主な歳入科目の決算額推移

地方交付税は平成27年度以降の段階的縮減に伴い、減少しています。一方、自主財源の根幹である市税については、収納率の向上および市民税が増えたことにより増加しました。また、石和温泉駅周辺整備事業等の終了に伴い、平成27年度以降減少していた市債は、市営住宅四日市場団地建替事業や石和学校給食センター建設事業の借入のため増加しました。

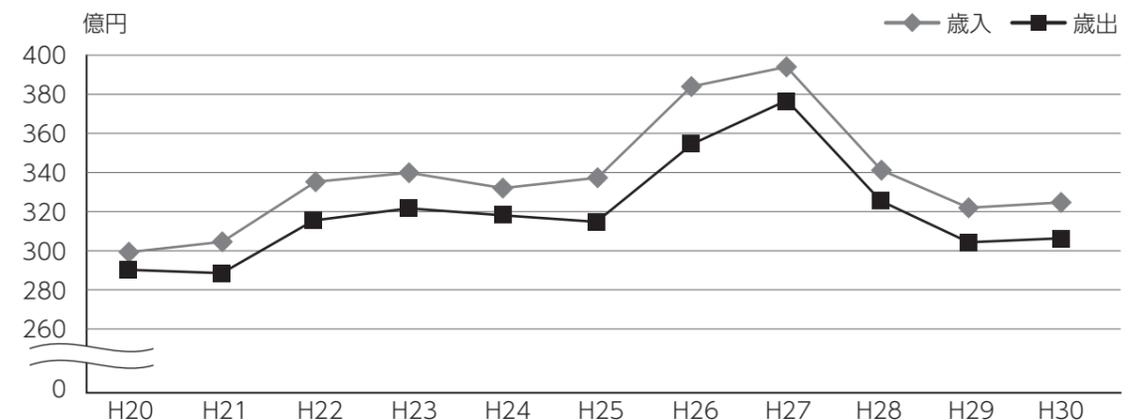


## 平成30年度 決算概要

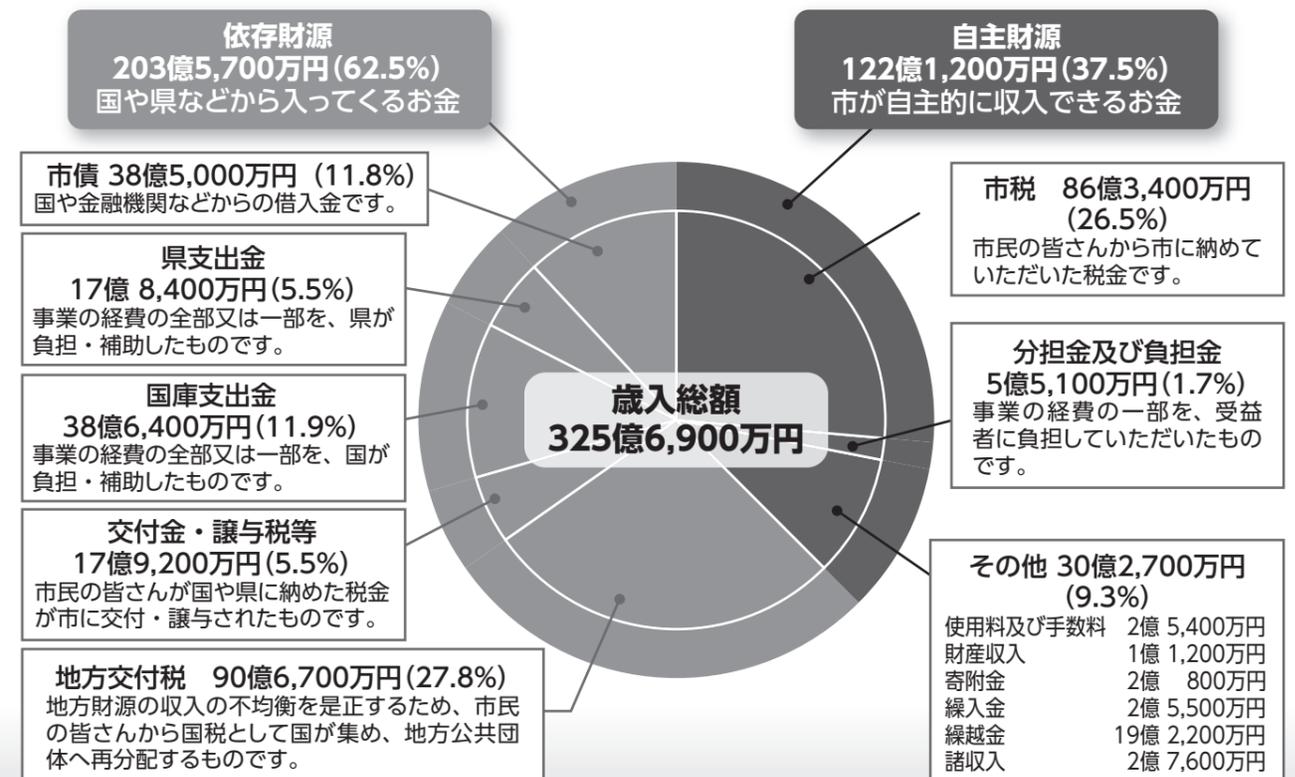
平成30年度決算が、市議会第3回定例会で審議され、認定されました。ここでは、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われ、また、市の財政が今どのような状況にあるのかをお知らせします。

## 一般会計 歳入・歳出の決算規模

平成30年度一般会計決算は、歳入総額が325億6,900万円、歳出総額が306億400万円でした。昨年度と比較すると、歳入は4億3,200万円増、歳出は3億8,900万円増となりました。

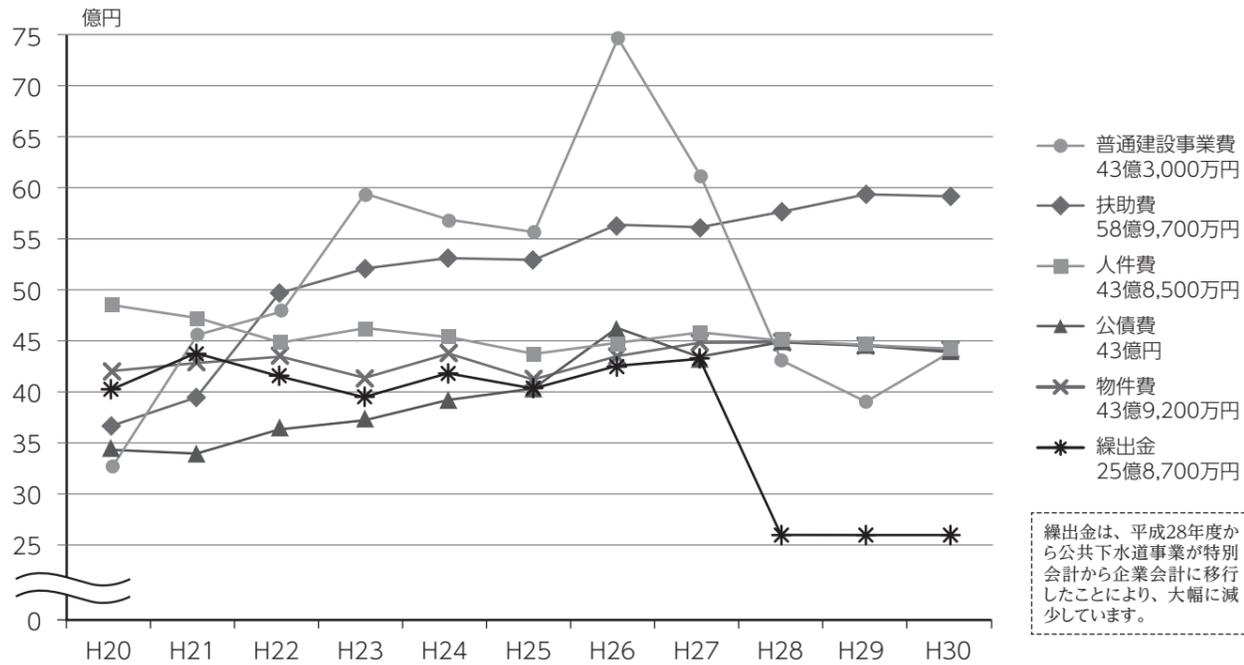


## 一般会計 歳入の内容



## 一般会計 性質別歳出額の推移

扶助費は、簡素な給付措置支給事業（臨時福祉給付金事業）の終了等に伴い約3,900万円の減額となりましたが、制度により支出が義務付けられている社会保障の経費が多く含まれており、性質別歳出の中で最大の額となっています。また、普通建設事業は、市営住宅四日市場団地建替事業や石和学校給食センター建設事業の実施により約4億4,500万円の増額となりました。



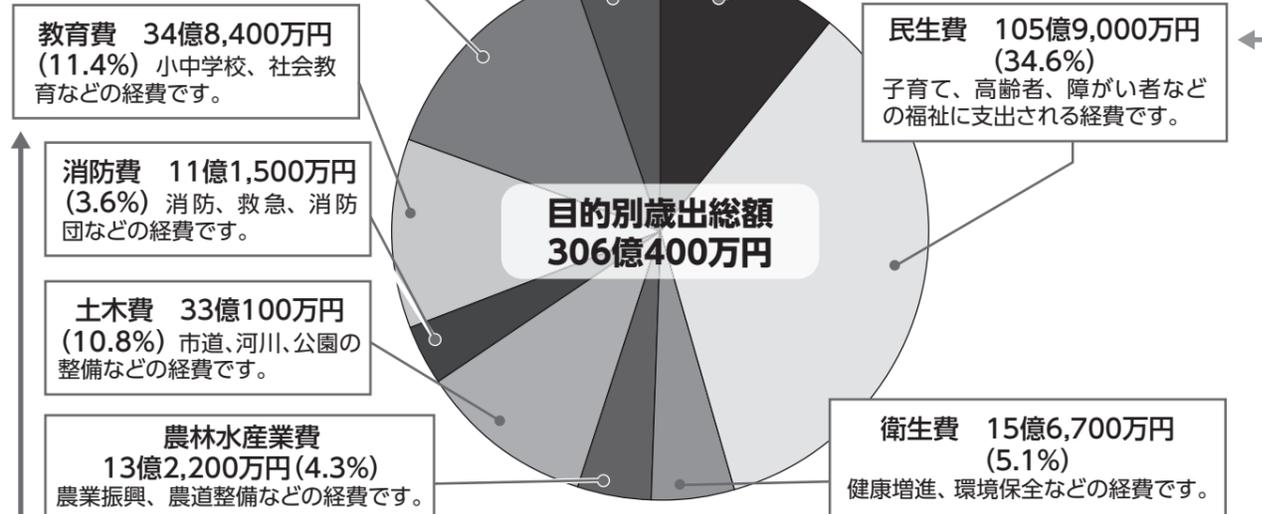
## 特別会計・企業会計の決算状況

会計区分	収入済額	支出済額	会計	区分	決算額
国民健康保険特別会計	93億3,334万円	86億6,599万円	水道事業会計	収益的(1)	収入 16億8,117万円
介護保険特別会計	69億3,384万円	65億8,432万円			支出 20億6,277万円
介護サービス特別会計	1,482万円	1,091万円		資本的(2)	収入 4億6,647万円
後期高齢者医療特別会計	14億9,363万円	14億3,718万円			支出 9億1,120万円
農業集落排水特別会計	5,568万円	4,455万円	春日居地区温泉給湯事業会計	収益的	収入 6,445万円
簡易水道特別会計	1,540万円	1,157万円			支出 6,124万円
笛吹市境川観光交流センター特別会計	8,862万円	5,465万円	資本的	収入 0万円	
恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計合計)	5,983万円	394万円		支出 9,969万円	
合計	179億9,516万円	168億1,311万円	公共下水道事業会計	収益的	収入 19億8,531万円
					支出 19億2,708万円
			資本的	収入 9億9,505万円	
				支出 17億4,539万円	

収益的及び資本的収入が支出に不足する額は決算剰余金等の補てん財源で措置しました。  
 (1)…各事業を運営していくための施設の維持管理や人件費等の会計  
 (2)…資本を形成するための工事や大型備品等の更新のための会計

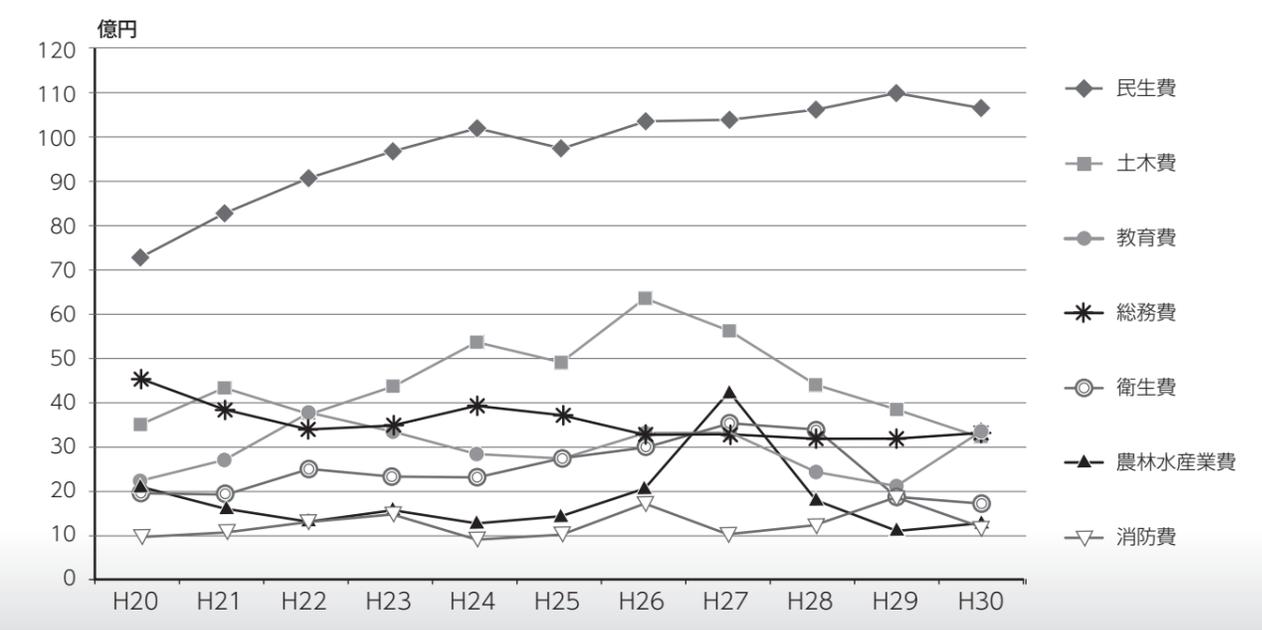
## 一般会計 歳出の内容

公債費 43億円 (14.1%) 市債の返済にかかる経費です。  
 その他 15億7,500万円 (5.1%) 議会費 2億2,700万円 労働費 1,300万円 商工費 3億6,600万円 災害復旧費 4,600万円 諸支出金 9億2,300万円  
 総務費 33億5,000万円 (11.0%) 庁舎の管理、徴税、戸籍事務などの経費です。



歳出の中で最も大きな割合となったのは、民生費の105億9,000万円で、歳出全体の約35%を占めています。地域介護・福祉空間整備等事業費補助金（地域密着型介護老人福祉施設への建設事業補助金）等の減少に伴い昨年度より約3億8,800万円の減額となりました。

歳出全体の約11%を占める教育費は34億8,400万円となり、公債費に次いで歳出の中で3番目に大きい割合となりました。これは、石和学校給食センター建設事業の実施に伴い、昨年度より約12億4,300万円増加したものです。



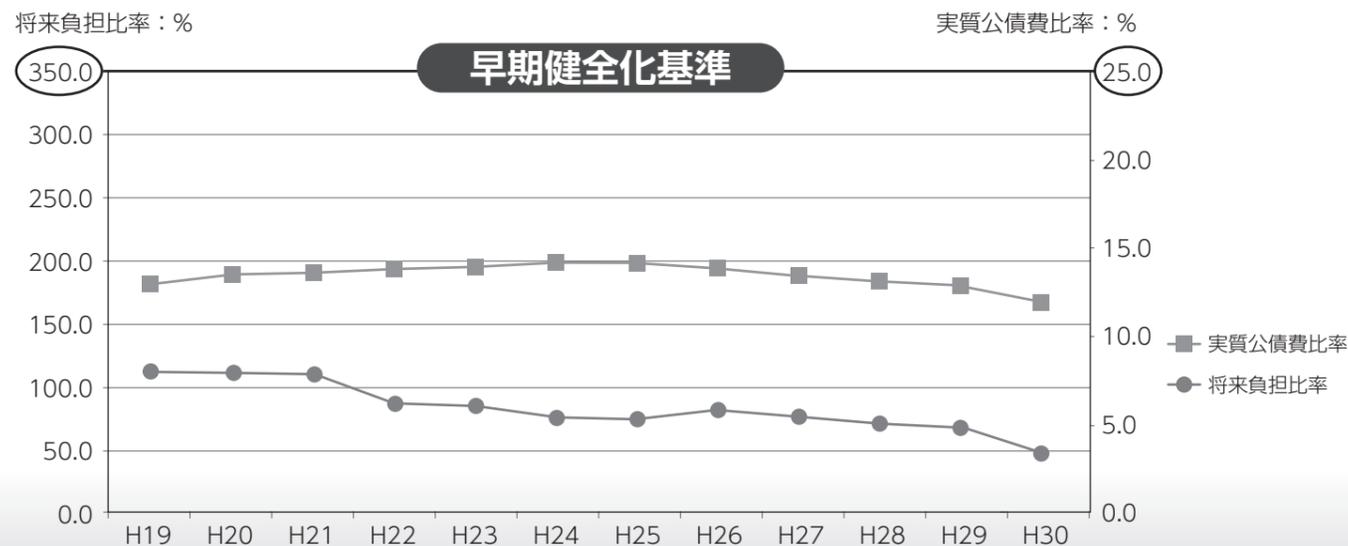
## 財政の健全度を判断する指標を公表します

平成30年度決算に基づく算定の結果、全ての指標が「健全」の基準内となり、健全な財政運営が維持されていると判断できます。

指標	算定結果 ( )内は前年度数値		早期健全化基準	比率の説明
	指標	算定結果		
健全化判断比率	①実質赤字比率	— (—)	12.53%	一般会計の赤字額の程度を市の財政規模と比較して指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
	②連結実質赤字比率	— (—)	17.53%	一般会計、特別会計及び公営企業会計の赤字額や黒字額を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
	③実質公債費比率	12.0% (12.9%)	25.0%	一般会計の借入金の返済額と公営企業会計や一部事務組合の借入金の返済金のうち、一般会計から支出されたと認められる額の合計額を市の財政規模と比較して指標化し、資金繰りの安全度を示す比率です。
	④将来負担比率	47.4% (67.2%)	350.0%	将来負担すべき額から市の貯金などを差し引いた額を、市の財政規模と比較して指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率です。
⑤資金不足比率	— (—)	20.0%	上水道、下水道など公営企業の資金不足を指標化し、経営の健康度を示す比率です。もし、ある公営企業会計で赤字が出たときには、赤字額をその公営企業の料金収入の規模と比較して、指標化します。	

### 指標の推移

財政健全化指標の公表が義務付けられた平成19年度以降の各指標の数値をグラフで表すと、実質公債費比率、将来負担比率ともに昨年度に引き続き減少しました。笛吹市では、各指標とも早期健全化基準を大きく下回っているため、健全な財政状態が保たれていることが判断できます。



### 一般会計 基金現在高の状況

	平成29年度末	平成30年度末	増減額
財政調整基金	39億 4,110万円	39億 4,454万円	344万円
減債基金	17億 9,062万円	17億 9,141万円	79万円
公共施設整備等基金	34億 4,365万円	41億 3,735万円	6億 9,370万円
地域振興基金	48億 8,984万円	49億 192万円	1,208万円
その他特定目的基金	24億 1,958万円	24億 9,690万円	7,732万円
<b>基金現在高</b>	<b>164億 8,479万円</b>	<b>172億 7,212万円</b>	<b>7億 8,733万円</b>

基金とは、家計で言うと預貯金のことです。決算剰余金が生じた場合などには、基金に積立を行い、特定の目的を持った基金については、各事業に充当するため、必要に応じて取り崩すことになります。平成30年度は、9億2,355万円を積み立て、1億3,622万円の取り崩しを行いました。

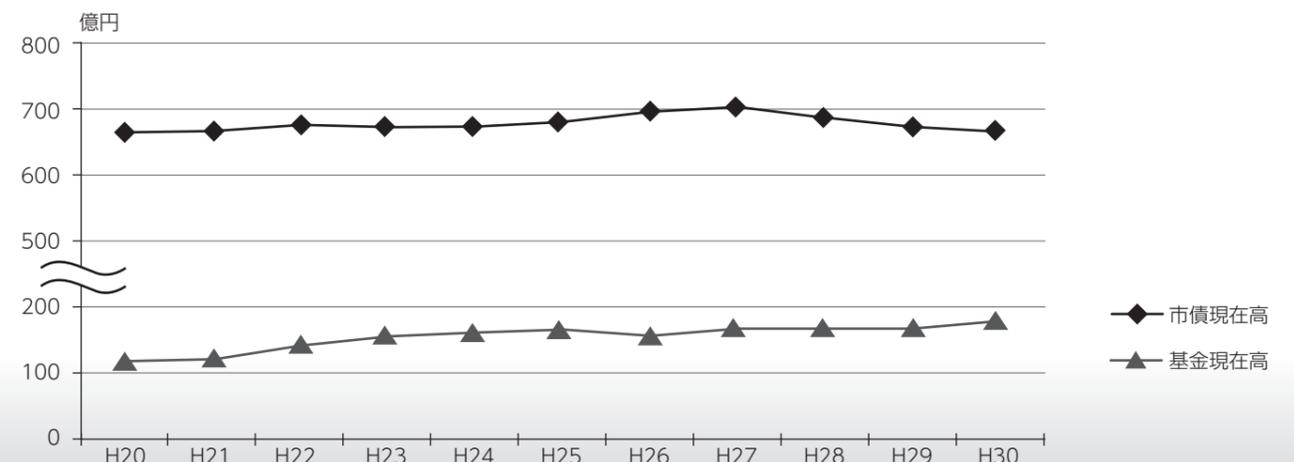
### 市全体 市債(借入金)現在高の状況

会計名	平成29年度末	平成30年度末	増減額
一般会計	429億 5,326万円	427億 7,319万円	△1億 8,007万円
うち合併特例債	202億 4,124万円	208億 9,843万円	6億 5,719万円
うち臨時財政対策債	159億 9,733万円	158億 3,157万円	△1億 6,576万円
公営企業会計	239億 6,273万円	231億 2,310万円	△8億 3,963万円
上水道・簡易水道	85億 1,850万円	82億 7,198万円	△2億 4,652万円
下水道	151億 8,155万円	146億 1,231万円	△5億 6,924万円
農業集落排水	2億 6,268万円	2億 3,881万円	△2,387万円
<b>市債現在高合計</b>	<b>669億 1,599万円</b>	<b>658億 9,629万円</b>	<b>△10億 1,970万円</b>
臨時財政対策債を除く市債現在高 合計	509億 1,866万円	500億 6,472万円	△8億 5,394万円

市債には、長く利用する施設の建設に当たって、資金の借入をすることにより、後年度の償還を通じて将来その施設を利用する人にも、建設の費用を公平に負担していただくという、世代間の負担の公平性を保つ役割があります。平成30年度の現在高は658億9,629万円で、昨年に引き続き減少しました。

### 基金と市債(借入金)現在高の推移

基金の現在高は、多額の取り崩しを行うことなく、約160億円前後で推移していましたが、平成30年度は公共施設整備等基金に約6億9,370万円を積み立てたこと等により、170億円を超えました。一方、市債の現在高は、普通建設事業の縮小に伴い減少しています。



# 平成30年度実施事業

平成30年度にも多くの事業を実施しました。主な事業の内容について、一部を写真で紹介します。



## 石和学校給食センター建設事業

石和地区小学校5校の給食調理場の老朽化に伴い、それらを統合した学校給食センターを石和町砂原地内に整備しました。本年度の2学期から運用稼働を開始し、児童に安全、安心な給食を提供しています。



## 市営住宅四日市場団地建替事業

老朽化が進んでいた石和広瀬団地、石和四日市場団地、石和長塚団地を集約するため、平成27年度から建替事業を開始していた石和四日市場団地が完成しました。平成30年9月から入居が始まっています。



**笛吹市農業塾運営事業** 笛吹市の農業を支える方々を支援し、情報発信の拠点となる機関として、笛吹市農業塾を開設しました。定年退職者を含む新規就農者などの支援を強化し、農業の担い手を増やす取り組みを行っています。

## 笛吹市ホームページをリニューアルしました

笛吹市ホームページは、市民の皆様にとって市の情報をより使いやすく、より見やすく、そして市外の方々に観光や移住定住など市の魅力を発信できるホームページを目指し、平成30年12月19日(水曜日)にリニューアルしました。



**ホームページリニューアル事業** 市のホームページを、障がい者への配慮可能な機能を持たせるなど、誰にでも見やすく分かりやすいものへとリニューアルしました。スマートフォンにも対応しており、市内外に向けて幅広く情報発信を行います。



**ハザードマップ作成事業** 平成27年の水防法の一部改正後に国と県が公表した浸水想定区域を反映し、浸水や土砂災害のおそれのある区域や避難場所等を記載した笛吹市ハザードマップを作成しました。各家庭や地域、学校、事業所等の防災・減災活動での活用が期待されます。



**小学校外国語授業アシスタント事業** 新学習指導要領への移行に伴い、小学校3年生以上で外国語の授業が増加することに対応するため、英語に堪能な方を募り、ボランティアによる授業の支援を行っています。小学校での外国語活動をより効果的に行い、学力の向上を図ります。

■問合せ先 財政課 ☎ 055(262)4111

● 発行 / 2019年11月1日 山梨県笛吹市役所

● 編集 / 企画課・広聴広報担当

● 所在地 / 〒406-8510 笛吹市石和町市部777番地

☎ 055(262)4111

● URL <https://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>